第５期高岡市中心市街地活性化基本計画（案）に関する意見募集の結果について

第５期高岡市中心市街地活性化基本計画（案）に関する意見募集が 10 月 16 日（金）に終了したので、その結果をお知らせいたします。

１ 意見募集の概要

（1）意見募集期間 令和８年９月 17 日（木）から 10 月 16 日（金）まで

（2）募集方法　　富山県電子申請サービス、電子メール、ファクシミリ、郵送、持参

２ 提出された意見について

（1） 提出者数

提出者数		８人
	富山県電子申請サービス	７人
	電子メール	１人
	ファクシミリ	０人
	郵送	０人
	持参	０人

（2）意見への対応結果

意見数		21 件
区分	○計画に反映	３件
	□その他（要望など）	18 件

（3） 意見の内容 … 別紙意見一覧表

第５期高岡市中心市街地活性化基本計画（案）に関する意見募集の結果

別紙

No	対象ページ等	ご意見	高岡市の考え方・計画への反映等	区分 ○：計画反映 □：その他（要望）
1	P.50～	高岡古城公園などの観光スポットの整備は良いと思います。ただ、駅からの古城公園への行き方が、観光客にとってはわかりにくく、歩くとすれば、少し遠く感じてしまう方も多いかもしれません。レンタルサイクル整備は良いのですが、それ以外の交通手段があってもよいかもしれません（次世代型の電気バスなど）また、歩く道筋が、さびれた感じをもたれる方もおり、特に、御旅屋通りは、改善が必要です。メルヘン広場や、伝えの扉などが出入口にあるのですから、それをもっと活用し、鋳物の街高岡を感じさせるような整備されてもおもしろいし、御旅屋はお殿様の宿泊所だったので、それを展示するような、わかるような空き家の活用もおもしろいかもしれません。そして、高岡城跡は、広くて、入り口が多いです。特に見てほしいポイントや写真スポットの案内が、良いと思います。また、食事場所と提携し限定プラン（例えば）を作ってもらうなど、地域のお店との協力してもらうことによって、高岡城跡の取り組みを知ってもらい、地元の人への認知にも繋がる一つだと思います。それ以外の観光スポットも同じ思いです。	高岡古城公園までの移動手段や御旅屋通り周辺の環境整備、地域店舗との連携について、貴重なご意見と具体的なご提案をいただき、ありがとうございます。 「高岡観光ナビ」やデジマップでのモデルコース・フォトスポットの発信、案内看板の整備・更新等を通じて、初めて訪れる方でも迷わず観光できる環境を整えていきたいと考えております。 いただいたご提案については、今後の観光施策の参考とさせていただきます。	□
2	P.8、P.10、P.14、P.16、P.35、P.38～40	第4期計画の手計測実績（R7：18,409人/日）と、第5期で導入されるAIカメラ計測による基準値（R7：13,200人/日）との間に約5,200人/日（約28%）の大きな乖離が存在します（P.8、P.38）。計測手法の変更自体は妥当ですが、**過去実績と新基準値の不連続性について過大評価の有無など客観的な要因説明が不足しています。**	歩行者・自転車通行量の目標設定の考え方について、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 従来の年２日の手計測は、天候や特定イベントの影響を受けやすいため、年間を通じた平均的な実態を把握しきれない課題がありました。第5期計画からは、常時・通年計測が可能なAIカメラによる計測へと計測手法を変更しますが、雨天やイベントなどのない平日も含めて計測することになるため、従来の手計測値と比べて低く算出されると見込んでいます。その**算出にあたっては、既にAIカメラが設置されている地点におけるAIカメラ計測値と手計測値の乖離幅・相関を分析し、AIカメラ未設置地点の推定通行量を補正算出しております。この考え方については、具体的な数値を交えてより詳しく計画に記載します。**	○
3	P.16、P.38、P.41～43	市民アンケート（P.14）で「来街頻度の減少」や「公共交通への不満（46.7%が否定評価）」が示されている中、令和13年度目標「13,600人/日」（P.38～40）の事業効果積算において、通行量の自然減リスクや日常的交通網（バス等）の不備がどのように考慮されているのか、論理的・統計的根拠の明示と目標の再検討を求めます。	第4期計画中の歩行者・自転車通行量については、コロナ禍は以降増加傾向にありますが、人口減少や市民アンケートにみられる来街頻度の変化等を考慮し、追加の施策を講じない場合の令和13年度の推計値として、現状から横ばいの13,200人/日と手堅く想定しております。公共交通の不満やアクセスの課題に対しては、「城端線・氷見線再構築事業」を、利便性向上により間接的な波及効果が見込まれる施策として位置づけるとともに、路線バスや万葉線等、交通事業者と連携し、中心市街地を訪れる方々が利用しやすい公共交通の実現に取り組んでまいりたいと考えております。	□
4	P.14、P.16、P.38、P.44	令和13年度の年間延べ宿泊者数を17,000人増加させる目標（191,000人/年、P.38）に関し、その内訳として「簡易宿所5件開業（+7,300人）」や「古城公園の景観改善等（+6,800人）」などの積算がなされています（P.42～43）。 しかし、素案自らがP.16の課題分析で「広域観光ルートの通過点になりやすい」「外部要因の影響を受けやすい」と指摘している通り、宿泊施設や観光地の供給枠（容積）を増やすことと、実際の宿泊客誘致（稼働率維持）は別問題です。単に施設数や観光客数に一定率を掛け合わせる機械的な試算ではなく、広域周遊客を「高岡泊」へ転換させる具体的なマーケティング戦略の裏付けと、需要変動リスクを見込んだ実現可能な目標設定への再検討を求めます。	宿泊者数の目標設定の考え方について、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 本市の観光は、外部要因の影響を受けやすいという課題があることから、第5期計画では高岡古城公園等の高岡独自の観光資源の磨き上げを行い、魅力向上を推進してまいります。併せて、関係団体や民間事業者等との連携のもと「宿泊」「食事」「体験」を組み合わせた体験型コンテンツの創出に努めるなど、中心市街地内の回遊性の向上と滞在時間の延長を図ることで、観光客数の増加とともに宿泊者数の増加を目指します。また、簡易宿所の開業支援制度を新たに設け、受入体制の充実を図ってまいります。これらの一体的な取り組みにより、「通過型」観光から「滞在・消費型」観光への転換が実現できると考えており、目標達成に向けて取り組んでまいります。なお、現行計画に含まれていない具体的な手法等のご提案については、今後の政策推進に向けた貴重なご意見として参考にさせていただきます。	□
5	全体	市民アンケート（P.14）において、「魅力的な店舗の不足（否定評価約49.1%）」や「大規模商業施設の影響に対する不満・懸念（約55.5%）」など、中心市街地の商業機能に対して厳しい評価が表れています。 それにもかかわらず、第5期の新規開業件数目標は第4期実績（17.2件/年）を下回る「14件/年」（5年累計70件、P.38・P.44）に引き下げられています。民間投資の減速を見越した設定である点は理解できますが、市民が最も改善を求めている商業機能の充実に対し、供給目標を縮小する姿勢は市民ニーズと乖離しています。単なる件数目標の縮小にとどまらず、店舗の定着支援やニーズの高い業種の重点誘致など、質的な補強方針を計画内に明確に位置付けるべきです。	新規開業件数の目標設定の考え方について、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 第5期計画の新規開業目標(14件/年)は、物価高騰や金利上昇による民間投資の鈍化を見込みつつも、第4期目標(12件/年)を上回る設定としております。第５期計画では、単なる件数設定に留まらず、施策の充実化と質的な補強を一体的に図ってまいります。 具体的には、開業された店舗に対して、まちなかスタートアップ施設「TASU」による伴走支援を強化し、出店者の確実な定着を後押しします。また、参考指標として、「オフィスの開業件数」を新たに設定し、まちなかにおける事業所と従業者を増加させることで、近隣店舗での昼食利用や仕事帰りの購買・飲食といった消費行動を創出し、日常的な昼間人口の増大を目指してまいります。	□

No	対象ページ等	ご意見	高岡市の考え方・計画への反映等	区分 ○：計画反映 □：その他（要望）
6	全体	今年も大型客船が伏木港に入港しました。10月13日大仏前テントにて入港者をご案内していましたが、観光見所を繋ぐルートにお土産屋・希望の飲食店等が少ないため、折角の客数に対して高岡市内にお金を落とす機会が少ないのが残念に思っています。 また、高岡古城公園をガイドでご案内していましても限られた時間内のため、三の丸茶屋でさえ充分時間が取れずお土産を買っていただく機会を逃がしてしまいます。例えば弘前城や鶴ヶ城等は、駐車場からお土産店・飲食店を通過して城内に入りますので、駐車場に戻る際否応にでもお店に寄りたくなるし、そこでお金を落として帰ります。 高岡城跡が樹木伐採により見える化が進められています。より100名城として来県者も増えるでしょうが、駐車場を拡大し、駐車料金を取り、同時に関係店舗を増やしていただきたいと希望します。 観光客の多くは高岡市内での宿泊ははとんど望めません。せめて観光のため滞在中は、高岡市内で楽しんで、食べて、帰ってからも高岡をアピールできるお土産を・・・があればと思います。	高岡古城公園の整備に加え、本市の観光消費の拡大や回遊性向上に向けた貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご指摘の「観光滞在中の消費の拡大」につきましては、第5期計画においても「通過型」観光から「滞在・消費型」観光への転換を図る上で重要な課題であると捉えております。本市におきましても、高岡古城公園の景観再生や磨き上げ事業により、史跡としての魅力を高めるとともに、関係団体や民間事業者等との連携のもと「宿泊」「食事」「体験」を組み合わせた体験型コンテンツの創出に努めるなど、まちなかを歩いて楽しめる空間づくりを進めてまいります。なお、駐車場の拡大・有料化や店舗を通過させる動線整備など、現行の計画に含まれていない具体的なご提案につきましては、今後の施策の推進や持続可能な観光地の整備に向けた貴重なご意見として参考にさせていただきます。	□
7	全体	中心市街地のカラスがひどいので、カラス対策と、将来的に無電柱化を進めて欲しいです	中心市街地の環境改善について、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 電線に留まるカラス対策につきましては、電線事業者と連携し、鳥の巣撤去やカラスなどの鳥が電線へ留まりにくくするためのラインロープの設置等の対策を行うと共に、本市では音声装置、レーザー装置の設置によるカラス追い払いや、建物の飛来防止設備への設置に対する補助等を行っております。 今後とも、効果的なカラス対策を検討し、対策を講じてまいります。 皆様のご意見は快適なまちなか環境の確保や今後の都市整備に向けた貴重なご意見として参考とさせていただきます。	□
8	全体	高岡の観光滞在を増やす必要があると感じているので、宿泊事業者への取り組み強化を高く評価します 高岡の観光需要調査、中心市街地に対する市民へのニーズ調査などをしっかりと進めて、観光客に求められる場所、市民に求められる場所にして欲しいなと思います	基本方針へのご賛同と観光振興について、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 観光客や市民のニーズ把握・調査をしっかりと進めるとともに、簡易宿所の開業支援制度を新たに設けるなど、宿泊事業者の取り組みを後押しし、観光拠点の整備とあわせて滞在・消費の拡大を図ってまいります。	□
9	全体	商店街マップや、商店街ホームページなどが必要と感じています	商店街の情報発信について、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 個々の商店街が行う、商店街マップの作成やwebサイトによる情報発信など商店街の魅力創出活動に対しては、「がんばる商店街づくり推進事業補助金」などの支援制度による取組を後押ししてまいります。	□
10	全体	とにかく民間が動きやすいようにして欲しいなと思います 民間事業者として、空き家リノベーションやレンタルサイクル事業などを進めております。高岡の中心市街地活性化を一緒に取り組んでいきたいと思います	民間事業者との連携について、貴重なご意見と申し出をいただき、ありがとうございます。 本市では、民間主体の自由な挑戦や事業展開を後押しするため、「高岡まちなかエリアプラットフォーム」を構築しています。本事業を基盤として、民間事業者が主体的に活動できる自立自走型の環境づくりを推進するため、まちなかの５年後、10年後を見据え、多様なプレーヤーの参画による「高岡まちなかエリアプラットフォーム」を立ち上げています。	□
11	全体	中心市街地の活性化に必要なことのひとつに**町の利用密度をあげることが挙げられます。** **その為の具体策を明示して頂きたい。** またなにかしらの方針を構想する際には、**それが実施された場合の波及を想像したい**です。単体効果ではなく副次的な効果があると思います。 正解はない世の中ですが、応援しています。	中心市街地の活性化に向けた対策とその効果について、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご指摘のとおり、**まちの利用密度の向上は、持続可能なまちづくりにおいて重要である**と考えております。 第4期計画では、起業・創業支援や魅力的な店舗の誘致による空き店舗の解消、賑わいと交流を生み出すイベント事業の充実などに取り組んできました。 頂いたご意見を踏まえ、**第５期計画では、第４期計画から取り組んできた「リノベーションまちづくり事業」を継続・発展させる事業として追加で位置づけます。**これにより、**空き店舗や遊休不動産等のリノベーションを推進し、日常的に人が集まり飲食や買い物を楽しめる店舗・拠点を集積させます。**さらに、**「高岡まちなかエリアプラットフォーム」を軸に、民間主体の活動を後押しし、個別店舗の開業やイベントの成果を「点」から「面」へ広げます。来街者が周辺商店街や観光地を周遊・消費する好循環を生み出すことで、エリア全体の資産価値向上や次世代の担い手育成という副次的効果へと繋げてまいります。**	○

No	対象ページ等	ご意見	高岡市の考え方・計画への反映等	区分 ○：計画反映 □：その他（要望）
12	全体	今回の高岡市中心市街地活性化基本計画について、基本的な方向性に賛同いたします。 これまでの取り組みにより、歩行者の通行量や新規開業件数が目標を上回るなど、着実に成果が出ていることは大変評価できると感じました。特に、イベントや創業支援を通じて新たな人の流れやお店が生まれていることは、今後の高岡のまちづくりにとって大きな可能性だと思います。 一方で、一時的なイベントの賑わいだけで終わらせず、普段から人が集まり、歩き、買い物や食事を楽しめるまちにしていくことが個人的に重要だと感じます。 高岡には、古城公園をはじめ、歴史や文化、ものづくりなど、魅力ある地域資源がたくさんあります。こうした魅力をさらに磨き上げ、観光客が訪れるだけでなく、中心商店街にも足を運び、食事や買い物を楽しみ、長く滞在してもらえる仕組みづくりを期待しています。 また、行政だけでなく、商店街や民間事業者、地域団体などが連携し、それぞれの強みを生かしながら、民間の活力を取り入れたまちづくりを進めていくことも大切だと思います。 今回の計画が、単に中心市街地を整備するだけではなく、高岡駅前から中心商店街、古城公園、歴史的な観光スポットへと人の流れをつなぎ、高岡全体の活性化につながる計画となることを期待します。	基本方針へのご賛同とこれまでの取り組みに対する評価、並びに今後のまちづくりに向けた貴重なご提案をいただき、ありがとうございます。 ご指摘のとおり、一時的なイベント効果に留まらず、日常的な賑わいや消費、歩きたくなる環境を創出することが極めて重要であると認識しており、第5期計画では、まちなかスタートアップ支援施設「TASU」による創業支援や空き店舗のリノベーション等を推進し、日常的に人が集まり飲食や買い物を楽しめる店舗・拠点を集積させます。また、高岡古城公園の景観再生・磨き上げや歴史・ものづくり文化等の地域資源を活かしたコンテンツを強化し、観光拠点の魅力価値の向上を図ります。さらに、「高岡まちなかエリアプラットフォーム」を軸に、商店街や民間事業者、地域団体等と行政が連携し、民間の知恵と活力を活かした持続可能なまちづくりを展開してまいります。	□
13	P.8、P.12、P.70、P.15	計画案では「開業後の事業を確実に定着させていく必要がある」と繰り返し述べられていますが、**目標指標は新規開業「件数」のみ**です。また、目標値14件/年は直近実績17件/年を下回っています。**空き店舗率が20～30%で高止まりしている現状を踏まえ、「開業後3年時点の営業継続率」や「中心商店街の空き店舗率」を補助指標として設定し、毎年公表することを提案します。**あわせて、**開業後の常連客づくり（市民への新店情報の定期発信、店主同士の相互紹介など）を伴走支援に含めていただきたい**です。私自身も新しくできた店を利用し、紹介していくことで協力したいと考えています。	開業後の事業定着に向けた補助指標の設定と伴走支援の在り方について、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご指摘のとおり、**持続可能な賑わいを創出するためには、既に目標指標として設定している新規開業件数のみならず、「開業後の確実な定着」と「空き店舗率の改善」が重要である**と考えております。つきましては、中心商店街の現状を適切に把握・評価するため、**目標指標「新規開業件数」を補完する参考指標として、「中心商店街の空き店舗率」を設定**し、**毎年の進捗管理を行い、空き店舗率減少に向けた施策に反映させてまいりたい**と考えております。また、開業後の伴走支援や定着の強化に向けて、**まちなかスタートアップ支援施設「TASU」や「高岡まちなかエリアプラットフォーム」等を活用し、店舗の定着や常連客づくりを後押ししてまいります。**	○
14	P7	第5期からAIカメラで通年常時計測を行うとのことで、大変良い取り組みだと思います。このデータを地点別・時間帯別・曜日別に定期公開すれば、出店を検討する方の判断材料、店主のイベント企画、市民による分析や提案に活用でき、計画の効果が高まると考えます。	AIカメラによる通行量計測の導入に対するご評価並びに、計測データの定期公開に関する貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 ご指摘のとおり、通年・常時取得される歩行者・滞留データを可視化・共有することは、出店検討者の判断材料や店舗のマーケティング、市民や事業者によるイベント企画や分析・提案を後押しする上で有効な取り組みであると認識しております。 計測データの公開につきましては、定期的に公開してまいります。	□
15	P87、P88	駐車場2時間無料化によって中心市街地を訪れる人が増えたことは、大変ありがたい取り組みだと感じています。一方で、市民の自家用車利用率が95%で、公共交通への評価が低いという現状を踏まえると、電車・バス・自転車で訪れる人にも同じような特典があれば、まちへ出かける選択肢がさらに広がるのではないかと考えます。城端線・氷見線の新型車両導入やパターンダイヤ化に合わせて、乗車券提示による商店街での特典や、万葉線の飲食店利用助成の対象拡大などを提案します。	公共交通の利活用、商店街活性化に向けた貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 現在、万葉線では、中心市街地におけるイベント開催時において、飲食店等利用助成事業を実施し、沿線店舗利用者の復路運賃等を助成しているところです。今後もご提案いただいた乗車券提示による特典や利用助成の対象拡大のほか、公共交通の利用促進と商店街振興の一体的な推進に取り組んでまいります。	□
16	P.38、P.43、P.70、P.76、P.91～	宿泊施設、観光拠点及びイベントごとに、通報の受付、注意、外国語での説明・翻訳、夜間対応、現地確認、記録、近隣調整、清掃・後始末の担当を示してください。訪日外国人への対応も含め、宿泊事業者、管理事業者、主催者、市の業務と責任の境界を明示し、住民への依頼範囲を限定してください。	宿泊施設や観光拠点及びイベント等における各種業務・責任境界の明確化に関して、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 まず、前提としまして、本市が賑わい集積開業等支援事業による増加を目指している「簡易宿所」とは、住宅宿泊事業法を根拠とする所謂「民泊施設」ではなく、旅館業法を根拠とするものであり、本法に基づく厳格なルールに則り、事業者が自らの責任と費用負担において適切に履行するものであるため、ご懸念されているような事態は想定しておりません。 また、本基本計画は、中心市街地全体の活性化に向けた基本方針や目標、主要事業の施策体系を定める総合的な計画であり、個別の施設やイベントごとの詳細な業務手順や夜間対応、通報等の責任分担を定めるものではないため、計画本文への反映は考えておりません。	□

No	対象ページ等	ご意見	高岡市の考え方・計画への反映等	区分 〇：計画反映 □：その他（要望）
17	P.38、P.43、P.70、P.76、P.91～	協力を求める際は、作業内容、時間、頻度、期間、報酬・実費、事故時の責任を説明し、本人の自由意思を確認してください。不参加、引受範囲の限定、途中辞退による不利益を防いでください。自治会等の輪番や世帯単位の割当てによって、観光・宿泊事業の対応業務が本人の意思に反して課されないようにしてください。	No.16の回答にもあるとおり、事業者が自らの責任と費用負担において適切に履行するものであるため、ご懸念されているような事態は想定しておりません。	□
18	P.38、P.43、P.70、P.76、P.91～	騒音、ごみ、迷惑駐車等の問題が生じた場合に、住民が注意、通訳、監視、記録、事業者への連絡を繰り返さなければ対応が進まない運用を防いでください。相談を受けた後の現地確認、事業者への連絡・指導、経過管理を誰が引き受けるかを定め、夜間の連絡先と不在時の代替担当も明示してください。	No.16の回答にもあるとおり、事業者が自らの責任と費用負担において適切に履行するものであるため、ご懸念されているような事態は想定しておりません。 また、本基本計画は、中心市街地全体の活性化に向けた基本方針や目標、主要事業の施策体系を定める総合的な計画であり、個別のトラブル対応や現地確認の手順、担当窓口等を定めるものではないため、計画本文への反映は考えておりません。	□
19	P.38、P.43、P.70、P.76、P.91～	開業支援に加え、営業開始後に反復して生じる通訳、苦情対応、清掃、安全管理等の人件費・委託費を見積もってください。法令・契約上の負担関係を踏まえ、住民の無償労務や立替払いを当然の前提としないことを求めます。事業者の廃業、無資力、連絡不能等で費用を回収できない場合の対応と最終負担者も示してください。	No.16の回答にもあるとおり、事業者が自らの責任と費用負担において適切に履行するものであるため、ご懸念されているような事態は想定しておりません。 また、本基本計画は、中心市街地全体の活性化に向けた基本方針や目標、主要事業の施策体系を定める総合的な計画であり、個別の事業者における運営費用の積算や、費用回収不能時の最終負担者等を定めるものではないため、計画本文への反映は考えておりません。	□
20	P.38、P.43、P.70、P.76、P.91～	簡易宿所を補助対象に加える際は、現地対応可能な管理体制、苦情窓口、外国語対応、ごみ処理、近隣への説明及び事故時の対応を確認する仕組みを整えてください。補助要件や協定等に定める事項、確認部署及び確認時期を示し、住民の協力が得られなくても必要な業務を継続できる体制を確保してください。	No.16の回答にもあるとおり、事業者が自らの責任と費用負担において適切に履行するものであるため、ご懸念されているような事態は想定しておりません。 また、本基本計画は、中心市街地全体の活性化に向けた基本方針や目標、主要事業の施策体系を定める総合的な計画であり、個別の補助要件や確認部署等を定めるものではないため、計画本文への反映は考えておりません。	□
21	P.38、P.43、P.70、P.76、P.91～	年間7,300人の宿泊増等の効果見込みに対応して、苦情・再発件数、市と事業者の対応時間・費用、住民に依頼した作業量及び未回収費用を把握してください。個人情報に配慮して年次公表し、役務や費用の住民への転嫁が生じた場合は、支援条件、管理体制及び事業規模を見直してください。	No.16の回答にもあるとおり、事業者が自らの責任と費用負担において適切に履行するものであるため、ご懸念されているような事態は想定しておりません。また、本基本計画は、中心市街地全体の活性化に向けた基本方針や目標、主要事業の施策体系を定める総合的な計画であり、個別の苦情件数や対応時間、費用の把握及びその年次公表を定めるものではないため、計画本文への反映は考えておりません。	□

第５期高岡市中心市街地活性化基本計画（案）新旧対照表

頁	改正後	現行	備考
39	高岡市中心市街地活性化基本計画 ■目標指標１　中心市街地の歩行者・自転車通行量 　中心市街地の活動人口の底上げに資する関連施策が、本市の課題の一つである「中心市街地の賑わい創出と回遊性の向上」にどの程度効果を発揮しているかを定量的に検証する指標として、「中心市街地の歩行者・自転車通行量（人 日）」を設定する。 　本指標は前期計画でも目標指標としていたが、これまでは、特定日（１年間のうち２日）に手計測で調査しており、天候や一時的なイベントに左右されやすく、年間の実態を正確に反映しきれないという課題があったため、 AI カメラを活用した常時・通年の計測へと調査方法を切り替える。 　また、調査地点について、これまでは「高岡駅・末広町 東 ・末広町 西 ・御旅屋通り・大仏前・山町筋」の６地点を測定していたが、末広町 東 と末広町 西 を統合し、高の宮通りを追加した計６ 地点により測定を行う。事業効果を図る基準値の算出に当たっては、既に設置済みの地点における AI カメラによる数値と手計測での数値の差異を基に、 AI カメラ未設置地点の推定通行量を出すものとする。通行量は、今後横ばいで推移することが想定されるため、最新である R7 年度を R13 年度の推計値とする。 【基準値の算出方法】 ①　令和７年度に手計測した１日当たりの通行量を算出 ②　①で求めた１日当たりの通行量に、令和7年度の平日日数及び休日日	高岡市中心市街地活性化基本計画 ■目標指標１　中心市街地の歩行者・自転車通行量 　中心市街地の活動人口の底上げに資する関連施策が、本市の課題の一つである「中心市街地の賑わい創出と回遊性の向上」にどの程度効果を発揮しているかを定量的に検証する指標として、「中心市街地の歩行者・自転車通行量（人 日）」を設定する。 　本指標は前期計画でも目標指標としていたが、これまでは、特定日（１年間のうち２日）に手計測で調査しており、天候や一時的なイベントに左右されやすく、年間の実態を正確に反映しきれないという課題があったため、 AI カメラを活用した常時・通年の計測へと調査方法を切り替える。 　また、調査地点について、これまでは「高岡駅・末広町 東 ・末広町 西 ・御旅屋通り・大仏前・山町筋」の６地点を測定していたが、末広町 東 と末広町 西 を統合し、高の宮通りを追加した計６ 地点により測定を行う。事業効果を図る基準値の算出に当たっては、既に設置済みの地点における AI カメラによる数値と手計測での数値の差異を基に、 AI カメラ未設置地点の推定通行量を出すものとする。通行量は、今後横ばいで推移することが想定されるため、最新である R7 年度を R13 年度の推計値とする。	追記

数を乗じる

③　AIカメラ設置済みの２地点(高岡駅、御旅屋通り)について、AIカメラによる通行量を算出

④　御旅屋通りにおける手計測とAIカメラの乖離率を算出(＝47%)

※高岡駅は、令和７年度の実測値をそのまま推計値とするため、乖離率は算出不要

⑤　【末広町(西)、大仏前、山町筋、高の宮通り】

②で求めた手計測(年換算)に④で求めた乖離率(47%)を乗じて推計値とする

【高岡駅、御旅屋通り】

③で求めたAIカメラの通行量を推計値とする

⑥　⑤で求めた通行量を365日で除する

	①R7手計測(人/日)		②R7手計測(人/年換算)		
	平日	休日	平日246日	休日119日	合計
高岡駅	10,479	11,143	2,577,834	1,326,017	3,903,851
末広町(西)	1,173	2,118	288,558	252,042	540,600
御旅屋通り	1,229	4,515	302,334	537,285	839,619
大仏前	1,172	2,029	288,312	241,451	529,763
山町筋	412	523	101,352	62,237	163,589
高の宮通り	709	1,017	174,414	121,023	295,437

	③AIカメラ実測(人/年)	④乖離率(③/②)	⑤AIカメラ推計(人/年)	⑥AIカメラ推計(人/日)
高岡駅	3,715,586	算出不要	3,715,586	10,180
末広町(西)	未設置	ー	251,833	690
御旅屋通り	391,128	47%	391,128	1,072
大仏前	未設置	ー	246,785	676
山町筋	未設置	ー	76,206	209
高の宮通り	未設置	ー	137,626	377
			合計	13,203
			端数調整	13,200

46

ⅲ）中心商店街の空き店舗率（仮）

　中心商店街（末広町、御旅屋通り、末広坂）においては、既存店舗の閉店等により、空き店舗率が上昇傾向にあり、令和７年度には25%を超えるなど、商業機能や経済活力の低下が大きな課題となっている。商店街全体の空洞化抑制や賑わい創出にどの程度結びついているかを検証し、エリア内の現状的確に把握するため、参考指標として「中心商店街の空き店舗率」を設定する。

参考指標	R3	R4	R5	R6	R7
中心商店街の空き店舗率	22.4%	18.7%	20.3%	21.8%	25.4%

（新規追加）

85

【事業番号】7-44　【事業名】リノベーションまちづくり事業

【事業実施時期】	平成29年度～
【実施主体】	高岡市、中心市街地活性化協議会、民間事業者
【事業内容】	リノベーションの手法を活用し新たな来街機会と賑わいを生み出す事業を実施

（新規追加）

活性化を実現するための位置付け及び必要性	【目標】	１活動人口の底上げ ２観光地としての魅力創出 ３起業・創業を支える環境の充実
	【目標指標】	１中心市街地の歩行者・自転車通行量 ２中心市街地の年間延べ宿泊者数 ３中心市街地の新規開業件数
	【活性化に資する理由】	増加傾向が著しい空き家、空き店舗等の遊休資産を、民間活力によりリノベーションすることにより、中心市街地での起業を支える環境の充実が期待でき、また、開業件数の増加に資する。加えて、新しい使い方による「まちのコンテンツ」を生み出すことにより、回遊性の向上、滞在時間の延長が期待でき、通行量と宿泊者数の増加に資する 。
【支援措置名】		
【支援措置実施時期】【支援主体】		
【その他特記事項】	区域内	